

# 令和元年10月版

## 交通死亡事故抑止対策 インフォメーション

県内で発生した交通死亡・重傷事故の過去7年間(平成24年～平成30年)のデータを活用して、各月の死亡・重傷事故の特徴や死亡事故多発日・時間帯などについて分析した結果です。

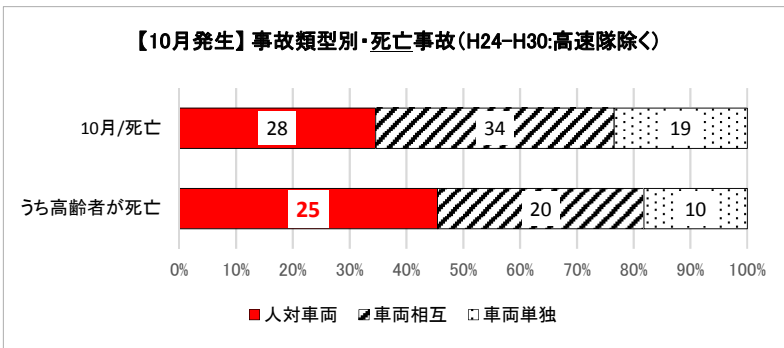
10月中の『交通死亡事故警戒強化日』は、7日(月)と25日(金)です。

### 【分析結果】

### 17時台に「歩行者事故」が急増！

- 過去7年間に発生した10月中の死亡・重傷事故に関する主な分析結果は、以下のとおりです。
  - 【年間の月別】10月中が最も多く発生し、特に死者数は88人と全体の12.4%を占めています。
  - 【死亡事故の類型別】約7割が高齢者事故であり、そのうち約5割が「人対車両」事故です。
  - 【高齢歩行者の死亡事故】25件のうち、20件が道路横断中の事故であり、ほとんどが「横断歩道以外」です。
  - 【道路横断中の事故路線】住宅街やスーパー等商業施設に近接した交通量のある「県道・市町村道」です。
  - 【道路横断中の時間別】10月から日没時間帯の17時台における死亡事故が顕著です。
  - 【歩行者のみさんへ】日没時間帯以降の外出時は、夜光反射材の着用が大切です。

横断歩道以外の横断中の事故



高齢歩行者の状態

(高齢者・人対車両)	
背面通行中	3
横断中	20
横断歩道	1
その他	19
他	2
計	25

2 過去7年間の10月中に発生した死亡・重傷事故を日別で見ると下表のとおりです。

